

# アマチュア 『疑心暗鬼』

プロとアマチュアの違いは、  
自然を見方に付けたか、敵にまわしたか。



バリューゴルフ  
**VALUE GOLF**  
www.valuegolf.co.jp

## 『新しい舞台がやってくる』

日本女子オープンで、アマチュア初の国内女子メジャー大会制覇を遂げ、次週のスタンレーレディースでも2位という大活躍をした畑岡奈紗選手がプロに転向した。

女子の世界ランキングを決めるロレックスランキングでもプロに転向した週に順位が150位。今年の活躍次第では、同じアマチュアの各選手と同様に、ランキングを上げるのが楽しみである。

さて、全米男子ツアーは、昨年、2016年10月から新年度に入り、ヒーローワールドチャレンジでは、約1年3カ月ぶりにタイガー・ウッズが待望の復帰を果たした。左の膝をはじめ、長年の激戦の疲れから背中など、体のあちこちを痛めていた彼には、まだまだ期待している人も多いと思う。ローリー・マキロイや、ジェイソン・デイをはじめ若手の活躍がめざましい中で、ひよつとすると、今期、日本の松山選手とタイガー・ウッズが最終日に同じ組み合わせになる日を見られる日も来るであろう。

ゴルフというスポーツも、他のスポーツ同様、年が明けるたびに新しいスター選手が登場し、その彗星のような選手にマスコミをはじめ、ゴルフファンが集中するのだが、中堅プロの実績や経験を上回るほどの新人が出てくることは、なかなか見られない。特に、アメリカ男子プロのツアーは、選手の層が厚いだけに、この10年、圧倒的な強さを持った選手が上位20位以内でチャンピオンの座をめぐるしく奪い合っているのが現状だ。

さて、畑岡選手の話に戻るが、何より彼女が素晴らしいのは、その安定したフォームや、それを支える体力ではなく、図太いばかりのメンタルの強さであろう。考えてみたら、樋口久子、岡本綾子以来世界で華々しく活躍した女子プロは、出現していない。彼女に足りないのは、あとは、アメリカという自由で且つ、厳しい舞台の上で戦う経験である。なるべく若いうちから国際舞台でその厳しさを肌で学び、2020年の東京オリンピックを目指してもらいたいと願うファンも多いであろう。

新年から話題豊富なゴルフ業界であるが、日に日に厳しさを増す自然の脅威とそこで戦う人間の知恵が、ゴルフというスポーツをますます予測困難なものにしている、という気がする。



戸張 捷 Sho Tobaru

1945年、東京生まれ。高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業(現SRIスポーツ)に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサルティングなども手掛けている。